

3. 「いいから いいから」長谷川義史の世界展の紹介

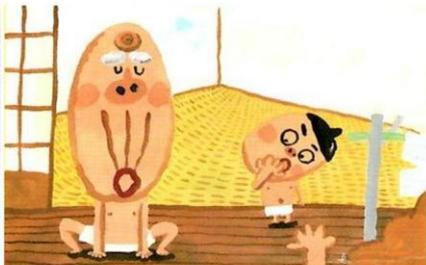
TV「ちちんぷいぷい」の「とびだせ えほん」で 街歩きをしながら、出会った人や風景 をそのままスケッチする絵本作家の長谷川義史さんの街歩き。ふっと忘れていた街の一場面を見事に写し、呼び起こしてくれる。気楽な優しい語り口で 街の人に溶け込んでゆく姿に人柄と共に「こんな街歩きをしたいなあ〜!!」といつも笑顔に。その余韻はさわやか。私にはないキャラクターである。

その絵本作家 長谷川義史さんの絵本原画展が 明石で今開かれている。

「いいから いいから」と 何事にもニコニコ 語りかけてくれる世界は平和と優しさそのもの。展覧会も絵本そのもの。見ている人もみんな笑顔で楽しんでいる。絵とともに横に書かれた文章に思わず、読み聞かせの世界に引き込まれてゆく。楽しい絵本を原画で読め、また いろいろ楽しい場の設定も・・・。こんな楽しい展覧会久しぶりでした。雰囲気伝われば・・・。 また、街の本屋で長谷川さんの絵本 手に取っていただければ。そんな長谷川さんの絵本の世界の展覧会 おすすめです。代表作「いいから いいから」のほか絵本の題名からも そんな世界の楽しさが見える



「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」



「いいから いいから」



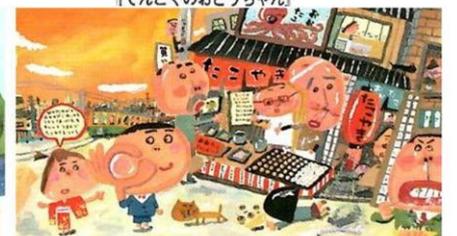
「てんごくのおとうちゃん」



「おかあちゃんがつつたる」



「だじゃれ日本一周」



「大阪うまいものうた」



「へいわってすてきだね」



「ちちんぷいぷい とびだせ! えほん 神戸北野」



「大阪うまいものうた」

「いいからいいから」長谷川義史の世界展 絵本原画
「いいからいいから」長谷川義史の世界展紹介パンフレットより



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
あるいてる。ちょうめいそがたくさんはえ、
よなくにうまが、ヒヒーンとなく。
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
これからも、ずっとへいわがつづくように、
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

「へいわってすてきだね」の絵本 小学生安里有生さんの平和式典での朗読に感動して、私のHPのtop pageに毎度掲載されている絵。これも長谷川さんの挿絵。この詩を読んだとき、そして、取材に波照間へ安里さん親子に会いに行ったときのエピソードも 絵本とともにこの展覧会にありました。

絵本ということもたちのものという考えもありますが、どちらが主役かわかりませんが、絵とともに添えられている短い言葉にもほのぼのと感動する。「いいからいいから」「ごらくごらく」と。

高校生になった孫娘が幼稚園・1年生の孫によく絵本を読んでやる。実にうまい。思わずひきこまれ、感動することがある。

「読み聞かせ」の世界というそうですが、インターネットの中にもたくさん長谷川さんの絵本の読み聞かせがアップされている。そんなサイトがたくさんあるので参考に。

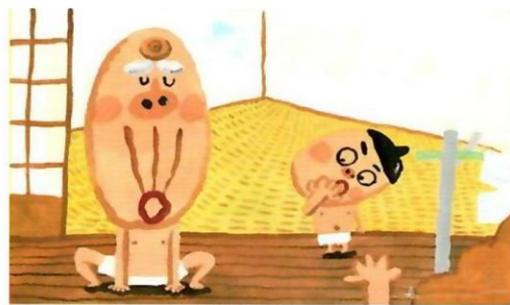
google 検索 動画検索 「長谷川義史 絵本」

◆ sun よみきかせ「いいからいいから」(1)
<https://www.youtube.com/watch?v=P1TzeQZnaky>

2017.4.14. 展覧会の後
魚の棚でたこ焼き(卵焼き)食べながら
by Mutsu Nakanishi

◆よみきかせサイト例

sun よみきかせ「いいからいいから」(1) <https://www.youtube.com/watch?v=P1TzeQZnaky>



「いいから いいから」

雷さん親子がやってきて、「いいから いいから」と歓待したおじいちゃん。おへそを取られて困っていましたが、送り返されてきたおへそをおでこにつけてしまって……それせでも「いいから いいから」と。長谷川さんの代表作「いいから いいから」シリーズの第一冊目 笑っちゃいました。



「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」

おじいちゃんのおじいちゃんはだれ? にはじまって、「じいじいじいじい…… じいじいじい……のおじいさんは?」最後のページにお猿さんができました。

「おかあちゃんがつくったる」も好きな絵本です

《 ご参考に 神戸新聞の記事より 》

「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より

神戸新聞記事より

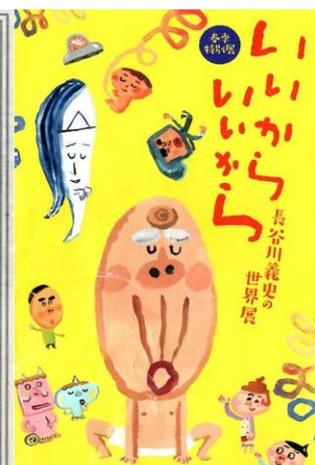


「いいから いいから」©長谷川義史/絵本館

子どもたちに大人気の絵本「いいから いいから」。どんなことでも大きな心で「いいから、いいから」と穏やかに受け入れる「おじいちゃん」を中心に展開される、愉快なストーリーが魅力です。元々は、長谷川さんによるイベント「絵本ライブ」の場で、即興で描く紙芝居として披露されていた

春季特別展「いいからいいから 長谷川義史の世界展」(神戸新聞社など主催)は5月21日まで、明石市立文化博物館(同市上ノ丸2)で開催。会期中無休。一般千円。☎078・918・5400

前田麻奈実
おじいちゃんのように「いいから、いいから」と何事も笑顔で受け止めることができれば、争いごともなくならず。楽しい絵本のなかにも、長谷川さんの平和への願いが込められています。(明石市立文化博物館学芸員・前田麻奈実)



©長谷川義史/絵本館、BL出版

2017.4.8(土)~5.21(日)
午前9時30分~午後6時30分 全期中無休
4月8日(土)のみ、午前10時00分~午後6時30分
(入館は午後6時まで)

明石市立文化博物館



神戸新聞記事より
「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より ①



「おかあちゃんが つくったる」©長谷川義史 / 講談社

なんでもミシンで作ってしまう
おかあちゃん。クラスの友達を買
ってもらったジーンズも、かっこ
いい靴も「かわんでも おかあ
ちゃん ミシンで つくったる
わ」と、一晩で仕上げてください。
けれども、ちよつと愛。友達と
少し違う、愛情たっぷりの品を身
につけ、恥ずかしい気持ちになる

春季特別展「いいからいいから
長谷川義史の世界展」(神戸新
聞社など主催)は5月21日まで、
明石市立文化博物館(同市上ノ丸
2)で開催。会期中無休。一般千
円。☎078・918・5400

前田麻奈美

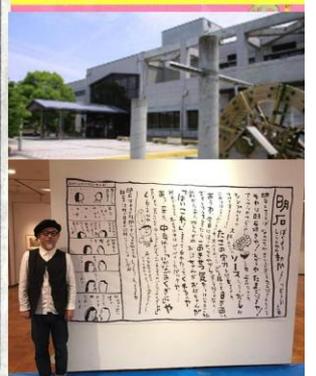
あたたかい家族の愛情と少しの
切なさ。穏やかな画風で丁寧に表
現された、かけがえのない日々が、
ほろりと涙を誘います。

(明石市立文化博物館学芸員・
前田麻奈美)

かれています。

「ほく」。この絵本は長谷川さんの幼少期
の体験をもとに描かれた、自伝的
な作品です。
小学生の頃に父を亡くした長谷
川さんと姉を、女手一つで育て上
げた母。「てんごくのおとうちゃ
ん」と、その後口談にあたる「お
かあちゃんがつくったる」には、
両親や家族との大切な思い出が描
かれています。

長谷川義史の
世界展
2017.4.8(土)~5.21(日)
午前9時30分~午後6時30分
4月8日(土)のみ、午前10時00分~午後6時30分
(入館は午後6時まで)
明石市立文化博物館



神戸新聞記事より
「いいからいいから」長谷川義史の世界展」より ②



穏やかな海を見つめる一人の少
年。美しく澄んだ青と豊かな緑が
目を引きまします。
この絵本「へいわってすてきた
ね」は、6歳の少年が自ら詩作し
沖繩慰霊の日の式典で読んだ詩を
もとに描かれました。

春季特別展「いいからいいから
長谷川義史の世界展」(神戸新
聞社など主催)は5月21日まで、
明石市立文化博物館(同市上ノ丸
2)で開催。会期中無休。一般千
円。☎078・918・5400

前田麻奈美

素朴で純粹、優しさに満ちた詩
は感動を呼び、やがて長谷川さん
のもとに絵本化の依頼が舞い込み
ます。

(明石市立文化博物館学芸員・
前田麻奈美)

かれています。

多くの試作を経て完成した絵本
には、少年の暮らす与那国島の光
や自然、動物、人々がいきいきと描
かれ、平和が続くように願う、まっ
すぐな思いが表現されています。
身近なものに向けられた優しい
まなざしを通じ、あらためて平和
について考えるきっかけとなる絵
本です。

長谷川義史の
世界展
2017.4.8(土)~5.21(日)
午前9時30分~午後6時30分
4月8日(土)のみ、午前10時00分~午後6時30分
(入館は午後6時まで)
明石市立文化博物館



